

第12回市原湖畔美術館子ども絵画展

「きみにとって うつくしいって なにかなあ？」

ゲストアーティスト：荒井良二（絵本作家）



展覧会概要

会 期	2025年2月1日[土] - 3月2日[日]
開館時間	平日 10:00~17:00 土曜・祝前日 9:30~19:00 日曜・祝日 9:30~18:00 *最終入館は閉館時間30分前まで
休 館 日	月曜日(祝日の場合は翌平日)
料 金	一般:500(400)円/大高生・65歳以上:400(300)円 * ()内は20名以上の団体料金。 *中学生以下無料・障害者手帳をお持ちの方(または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示)とその介添者(1名)は無料
主 催	市原市、市原湖畔美術館[指定管理者:(株)アートフロントギャラリー]
協 賛	株式会社中川ケミカル
後 援	市原市教育委員会、市原市小学校長会、市原市私立幼稚園協会、市原ぞうの国、株式会社バンブーフォレスト、小湊鐵道株式会社、シティライフ株式会社、高滝湖観光企業組合、千葉日报社、南いちはら応援団新聞 伝心柱
お問合せ	市原湖畔美術館 TEL:0436-98-1525 E-mail:info@lsm-ichihara.jp https://lsm-ichihara.jp/



きみにとってうつくしいってなにかなあ？ 子どもたちと荒井良二が紡ぐ「うつくしい」の物語

第12回となる「市原湖畔美術館子ども絵画展」。ゲストアーティストに絵本作家・荒井良二さんを迎え、「うつくしいってなに？」をテーマに、市原市内の子どもたちから募集した作品を展示いたします。

「うつくしい」ってなんでしょう？ それは、「きれい」ということ？ 「かわいい」ということ？ きみが見た景色？ まだ見たことがない景色？ 知っている人？ 大切にしているモノ？ 経験したコト？——本展は、約300点の子どもたちの作品と荒井良二が紡ぐ、「うつくしい」の物語です。また、荒井さんと詩人・最果タヒさんとの共著『うつくしいってなに？』の原画全点も特別公開いたします。みなさまのご来場をお待ちしております。

展覧会の見どころ

① 約300点の子どもたちの作品と荒井良二のコラボレーション

市原湖畔美術館では2013年の開館以来、毎年、市原市内の幼稚園、保育園、小学校から絵を公募し、「市原湖畔美術館子ども絵画展」を開催してきました。第一線のアーティストが審査にあたり、美術館を会場に子どもたちの絵とコラボレーションする、このユニークな展覧会は、年々評価を高めています。

第12回目となる本展は、ゲストアーティストに絵本作家・荒井良二さんを迎え、「うつくしいってなに？」をテーマに開催します。集まった約2200点の作品から荒井さんと当館館長、北川フラムが選出した約300点の子どもたちの作品が、荒井良二さんの絵や言葉とともに展示されます。



② 「うつくしい」とは何かを問いかける展示

本展では、子どもたちが描いた作品から荒井さん自身のドローイングを重ねたり、テーマからインスピレーションを得て制作した新作絵画を通じて、子どもから大人まで、ひとりひとりが「うつくしい」を考える場をつくりだします。



③ 絵本『うつくしいってなに？』原画全点を特別公開

昨年夏に刊行された、荒井さんと詩人・最果タヒさんとの共著『うつくしいってなに？』（2024年7月刊行／小学館）の原画全20点を特別公開いたします。また、絵本の題字や色校などの貴重な印刷原稿も公開し、荒井良二さんの絵本がつくられるまでのプロセスをご覧いただけます。

ゲストアーティスト



Photo：志鎌康平

荒井 良二（あらい りょうじ）

1956年 山形県生まれ。絵本作家。その幅広い活動は、絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまでおよびます。「たいようオルガン」でJBBY賞を、「あさになったのでまどをあけますよ」で産経児童出版文化賞・大賞を、「きょうはそらにまるいつき」で日本絵本大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞するなど世界的な評価を受けるアーティストです。2018年まで「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」の芸術監督をつとめ、現在は「newborn 荒井良二 いつも しらないところへ たびするきぶんだった」展が全国の美術館を巡回中です。



会期中イベント

■ワークショップ

「うつくしいってなに？」

荒井良二さんと一緒に、絵と言葉で「うつくしい」を考えてみます。できあがった作品は、会期中美術館に展示されます。

【日程】

2025年2月1日(土) 13:00～15:00

【会場】市原湖畔美術館 多目的ホール

【対象】～小学6年生までの子どもたち

【定員】30名(事前要申込み)

【参加費】一人1,000円 ※入場には、別途観覧料が必要です。

【お申込み方法】

2025年1月11日(土) 10:00開始

美術館HPのイベント情報にある受付フォームにてお申込みください。定員に達し次第申込みを締め切ります。詳細は美術館HPをご確認ください。

「市原湖畔美術館 子ども絵画展」これまでのゲストアーティスト・審査員

- 第1回(2013年度) 会場構成: assistant(建築家ユニット)、特別審査員: 保科豊巳氏(東京藝術大学美術学部長(当時))
- 第2回(2014年度) 会場構成: 安西一憲氏(ランドスケープデザイナー)、特別審査員: 現代美術家/日比野克彦氏(現代美術家)
- 第3回(2015年度) 会場構成: 伊藤史子氏(デザイナー)、ゲスト審査員: 小沢剛氏(現代美術家)
- 第4回(2016年度) 会場構成: 現代美術家/原倫太郎氏+原游氏、ゲスト審査員: 開発好明氏(現代美術家)
- 第5回(2017年度) 会場構成: 現代美術家/KOSUGE1-16(土谷享氏+車田智志乃氏)
ゲスト審査員: KOSUGE1-16 土谷享氏(現代美術家)
- 第6回(2018年度) 会場構成・ゲスト審査員: 長谷川仁氏(現代美術家)
- 第7回(2019年度) 会場構成・ゲスト審査員: 鬼頭健吾氏(現代美術家)
- 第8回(2020年度) 会場構成・ゲスト審査員: 成田久氏(アーティスト・ディレクター) ※コロナ禍のため一般公開中止
- 第9回(2021年度) 会場構成・ゲスト審査員: 成田久氏(アーティスト・ディレクター) ※コロナ禍のため一般公開中止
- 第10回(2022年度) 会場構成・ゲスト審査員: 鴻池朋子氏(現代美術家)
- 第11回(2023年度) 会場構成・ゲスト審査員: 松井えり菜氏(現代美術家)



広報用画像

①



②



③



④



- ①荒井良二《What is beautiful to you?》2024年
- ②絵本『うつくしいってなに?』（2024年7月刊行／小学館）
- ③第12回子ども絵画展バナー
- ④荒井良二_プロフィール写真 Photo：志鎌康平



アクセス

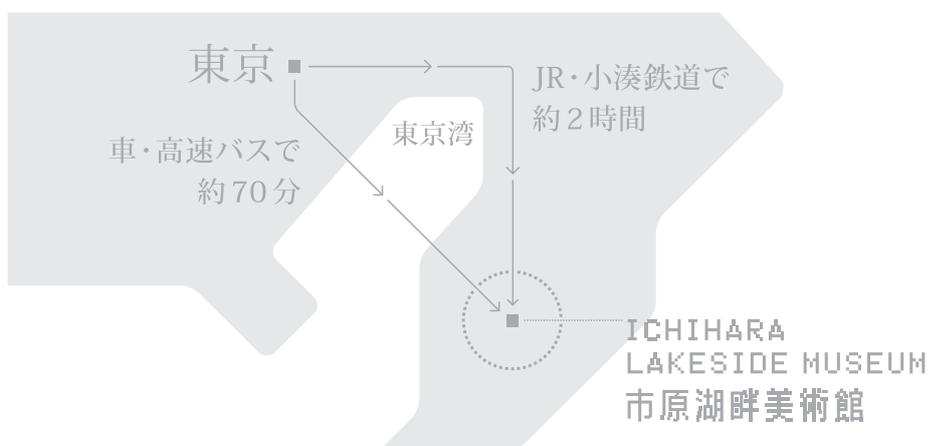
所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

鉄道で：JR 内房線五井駅乗り換え 小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分 / タクシー5分

お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間

(市原鶴舞バスターミナルよりタクシー 約5分)



広報についてのお問い合わせ

市原湖畔美術館 戸谷

tel:0436-98-1525 fax : 0436-98-1521

press@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

美術館のSNSでは、美術館や展覧会情報を発信しています。

Facebook : @ichiharalakesidemuseum

Instagram : @lsm_ichihara

X (旧 Twitter) : @LSM_ICHIHARA

